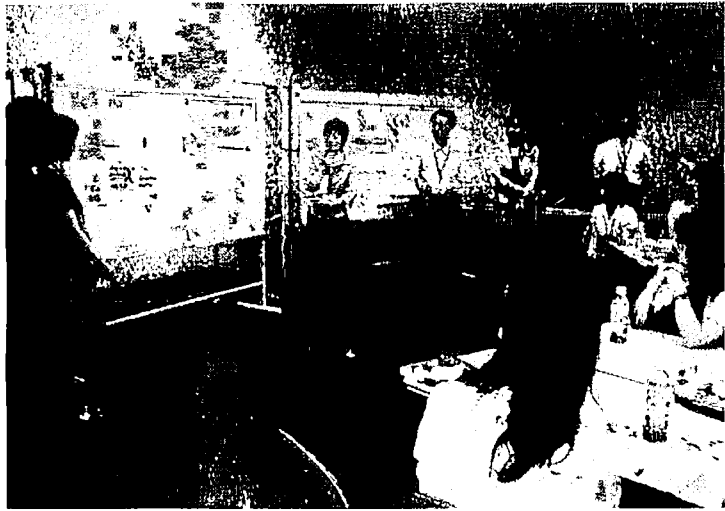


第2回かわさき近未来フォーラム

「5年後」をイメージ

5年後の川崎を自由にイメージしたフォーラム 幸区



レトロモダン、国際映画イベント… 活性化にアイデア

川崎駅周辺の企業や官公庁に勤務する人が交流し、駅周辺のまちづくり案を話し合う「第2回かわさき近未来フォーラム」が二十八日、川崎市幸区の市産業振興会館で開かれた。約三十五人の若手が、五年後の川崎のイメージについてグループ討議と発表会形式でアイデアを出し合った。

(鈴木 美帆子)

主催者側は、川崎駅周辺市街地活性化事業に役立つアイデアは取り入れていきたい、と話

参加者は五年後の川崎像を、カードに自由記入した上、関心のあるキーワード別のグループに分かれて討議した。各グループともぎっくばらんな雰囲気、自由なアイデアが次々と上がった。「レトロで癒やしの雰

囲気を醸す東口と、洗練された未来都市西口」を対比した「レトロモダンな川崎」や、国際映画イベントを目指す「フェスティバル川崎」など、六グループが案をまとめた。同フォーラムの主催で、同会館に事務局を置く川崎駅周辺市街地活性化事業「かわさきTMO」事務局は、今回出されたアイデアを事業に生かせるものは活用し、川崎を発信する材料にもしたいとしている。